



いってきました、美濃西国三十三観音霊場

大智寺だより

平成 22 年 車月

発行所

大智寺

岐阜市山県北野

6 6 8 - 1

電話：058-229-1532

Mail: hybsr245

@ybb. ne. jp

ホームページ

[大智寺検索](#)

[www. geocities. jp/ daiti](http://www.geocities.jp/daiti)

toukai

「お経が上手」とほめられるほどになった、結束固い巡礼

去る4月15日・16日に霊場巡礼へいってきました。まず若和尚と若おくりが道案内を間違え、出鼻をくじかれたこのバスツアー。しかし、各お寺で心温まるご接待を受けながら、和気あいあいと無事巡礼をすることができました。そういえば、地域のお手伝いの方々がお漬物を接待していたり、茶菓子を勧めるお寺もありました。見上げれば「えー！！」と二の足を踏んだ山寺への階段も、みんなで登れば楽しい思い出。

1日目はなんとなく読んでいたお経も、2日目にはすっかり板に付き、とうとう終わりがけには、恵利寺の和尚様に「大智寺の皆さんが、このご開帳中で一番お経が上手！」とほめられるほどになりました。それもそのはず、何せ2日間で33ヶ寺各所でお経を読んできましたから。

やっとの思いで満願を迎え、大智寺にてそれぞれ納経帳を手にししました。最後の住職の話では、この納経帳をお棺に入れて死後持っていけば、「スルツ」と極楽に行けるとか。でもその前に棺おけに「スルツ」と入れるようダイエットしなくっちゃ（笑）

観音様にご興味のある方は、裏面をご覧ください☆

当紙発行にはピーク・ア・ブー様の
ご支援を頂きました。
一服するならピーク・ア・ブー

広がる大智寺の輪

〜 一期一会 その瞬間 〜

86才の生きる智慧

「おんばだら ゆうぜいそわか」

「いつものお経の後に、この呪文を3回繰り返して家族全員の名前を唱えろとね、90才まで生きれるで、あんたも毎日唱えやーよ」とこっそり教えていただいた呪文。本堂にいらっしやった86才の方は、お母様から教わったその呪文を今も毎日唱え続けていらっしやるそうです。

「あと、お母さんに教えてもらったのは、糸玉から糸を上手に一本抜くときの歌」

えっ、糸をほどく時に歌う歌？

「しゃしゃもしゃしゃ、もしゃしゃがうらに もしゃもなく かまどの女房なぜに来た」・・・皆さん、「存知ですか？」

「20番にヤマシロツツミネ のうもすずみ

山路に向かう雨の空 ヨシミネよりも晴るる夕立」・・・ちなみにこれは、雷が来たら唱えるそつな。昨年雷がひどかったけれど、必死でこれを唱えたら雷は落ちずにテレビだけ壊れたそうです(そんなこともあるんですね)

前総代 故近松喜美義さんの
写真集「小瀬鶉飼」 出来上がる

かつて写真集「大智寺」を作成して下さった近松喜美義さん。新命和尚の得度式には、お寺総代として「共に大智寺を盛り立てていこう」と喜んでくださっておりました。

そんな近松さんの作成された今回の写真集「小瀬鶉飼」は、一年を通して鶉飼の表舞台裏舞台をそのまま伝える、他に類のない資料となっております。お寺にも写真集を保存しております。お寺にお出掛けの際は、ぜひ御覧くださいませ。



大智寺が雑誌に掲載されます

三十三観音霊場として当寺を紹介したいとの依頼を受けました。雑誌は「月刊 KELLY (ケリー)」の7月号です。この雑誌は、東海エリアを中心に毎月 12 万部発行されています。

今回は忙しい毎日をリセットするパワースポットを特集されるそうです。本屋で見てください。

俳句にご興味のある方へ

この三輪北地区で、支考の俳諧結社「獅子門」の門徒さんによる定例句会が始まりました。ご興味のある方は、どうぞご連絡ください。

日程：毎月第4日曜日
時間：午前9時より
場所：三輪北公民館にて

獅子庵の声

長刀の
供こそつれね
花盛
支考
武家の奥方か娘かが
お供も連れずに
風雅に一人 花見中